

活動の柱

- 1 青少年の体験活動の促進
- 2 青少年団体の育成と支援
- 3 青少年に望ましい地域づくり
- 4 青少年に関する相談と対応
- 5 青少年に関する調査と情報提供



神奈川県青少年指導員だより

第75号
— 2026年9月 —

発行 神奈川県青少年指導員
連絡協議会
発行者 辺見 伸一
連絡先 神奈川県青少年課

第30期理事あいさつ

令和8年度第1回神奈川県青少年指導員連絡協議会理事会（令和8年6月17日）にて選出された役員の皆さまをご紹介します。

子どもたちの未来のために

神奈川県青少年指導員連絡協議会 会長 辺見 伸一（横浜地域）



第30期神奈川県青少年指導員連絡協議会の会長に就任しました横浜市青少年指導員連絡協議会の辺見と申します。各市町村共青少年指導員として活動して頂ける方々は減少し同時に高齢化も進んできています。この状況を考慮すると若返りが課題かと思われます。このような中、指導員としてパトロール活動・県主催の行事等への参加に加えて、各地域でのイベント等の計画・実行などもして頂いて大変感謝致しております。

近年はSNS等を介して子ども達が色々な事案に巻き込まれている状況にあります。私達青少年指導員ができることに限りはありますが、子どもたちの豊かな情操、多様な価値観、適格な判断力を育むイベントなどを催して頂きたいと思います。今後も子どもたちの未来のために夢と希望を少しでもかなえられるようなサポートをして頂ければ幸いです。

最後になりますが青少年指導員の皆様方には今後も青少年の健全育成の為に尽力を賜りたくよろしくお願い申し上げますと同時に皆様の更なる活躍を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

子どもの権利条例

副会長 岸 眞介（川崎地域）



第30期の副会長を務めます岸と申します。青少年の健全育成の推進につきましては、県下指導員の皆様のご尽力に感謝申し上げます。

川崎市では2001年に「子どもの権利条例」を制定して、条例施行から25年を迎えました。「子どもの人権」と難しく捉えるのではなく、まずは子どもの立場になって考え、次に子どもの意見を尊重することが大切という精神です。多様な「居場所」「遊び」「学び」の機会を提供したり、「虐待」「差別」「違い」といったセンシティブな問題にも対処しています。最近、条例の認知度が下がっていて、私たち指導員を含め普及活動に取り組んでいきたいと思っています。

子どもたちの笑顔をいっぱいに

副会長 萩原 正恵（県央地域）



第30期神奈川県青少年指導員連絡協議会の副会長を務めさせていただきます、県央地域の萩原と申します。

会長、副会長、理事の方々の支えの中、活動できる事を大変うれしく元気をいただきます。

ネット社会の中で子どもたちが危険にさらされる事を多く聞く時代になってしまいました。少しでも救えるように多くの子どもたちに声をかけをし、微力ながら頑張っていきたいと思っています。よろしくお願い致します。

青少年指導員の仲間を増やしていこう



理事 齊藤 一城（相模原地域）

相模原地域から第30期理事となりました齊藤です。よろしくお願いします。

皆さまにおかれましては、多様な事業の企画・運営をとおして、青少年の健全育成に御尽力されていることに感謝申し上げます。また、皆様の日頃の取り組みは青少年指導員の知名度向上にも貢献していることと思います。

一方で、コロナ禍以降、各地域で青少年指導員になっていただく方が減少しており、日頃の活動に支障を来すような地域もあるように感じています。

私たち青少年指導員が青少年の健全育成の取り組みを絶やすことのないよう、仲間を増やして活動の場を広げていけるよう願っています。

子どもたちと育つ地域は笑顔になる



理事 宮代 とよ子（湘南地域）

湘南地域からの代表で第30期理事となりました大磯町の宮代です。

昨年度のことですが、青少年指導員大会湘南地域開催で実施した時の合言葉が「楽笑（らくしょう）」でした。湘南地域青少年指導員の皆さんが子どもたちの笑顔の為に楽しく頑張っています。

大人は子どもの未来予想図です。子どもたちが大人になるまで楽しく笑顔になれる経験を大人もともにしていきたいと思います。

子どもたちの健やかな成長の為に



理事 中釜 仁（横須賀・三浦地域）

この春から横須賀三浦地域の理事に就任した葉山町の中釜と申します。よろしくお願いします。

近年、若い方々が犯罪に巻き込まれるのを見聞きする度に、どこかで回避する事が出来なかったのだろうか？何かがもう少しあれば変わっていたのではないかと、考えてしまいます。

答えは分かりませんが、青指の活動の中で、子どもたちに好きな事や楽しい事を見つけてもらって、それが平穏な将来に繋がれば良いと願っています。

誰かのためにできること



理事 小野 浩二（県西地域）

日頃より、指導員活動にご尽力されている指導員の皆様、大変感謝申し上げます。

青少年達とのふれあいイベントにおいて、協調性や思いやりの心を育成し、日常とは異なる体験をさせ記憶に残る活動になればと、日々自身も楽しみながら活動しております。

近年の問題点である、いじめや引きこもり等の抑制につながる活動が出来ればと、考えます。

共に青少年達の未来のために頑張りましょう。

社会環境健全化推進街頭キャンペーンを実施しました！

場所・日時：川崎市中原区・8月5日(水)／桜木町駅・8月6日(木)

参加団体：神奈川県、横浜市、川崎市中原区、青少年指導員、青少年関係団体、業界団体等

活動内容：寄付品の野球チームのクリアファイルや県で作成したチラシを配布し、青少年の喫煙飲酒防止を呼びかけました。



第57回(令和8年度)神奈川県青少年指導員大会のご案内

令和8年11月29日(日)13時から、川崎市産業振興会館で開催いたします。

今大会のテーマは「無限の可能性を秘めた子どもたち！～今、私たちにできること～」。ご活躍される青少年指導員の方々の表彰式や開催市における活動事例の発表、認定NPO法人フリースペースたまりばの西野理事長を招いての講演を計画しています。

県内各地域より大勢の青少年指導員の方々が一堂に会する機会となりますので、皆さま是非とも奮ってご参加くださるようお願いいたします。

開催概要

内 容	・ オープニングアトラクション (川崎市立橘高等学校 吹奏楽部) ・ 青少年指導員表彰式：感謝状贈呈 ・ 青少年指導員活動事例発表：川崎市青少年指導員連絡協議会 ・ 講演：認定NPO法人フリースペースたまりば 理事長 西野 博之氏
開 催 場 所	川崎市産業振興会館 神奈川県川崎市幸区堀川町66番地20
交通アクセス	・ JR川崎駅 (中央南・中央北改札・北改札) 徒歩 8分 / - 京浜急行川崎駅 (西口改札) 徒歩 7分

第5回 青少年指導員の仲間を増やすための取組

伊勢原市では、自治会から青少年指導員の推薦をいただき、7地区に分かれ、現在、90名の青少年指導員が日々楽しく活動しております。そこで、さらにより多くの方に青少年指導員の活動を知っていただくため、広報誌「まどべ」の作成を行っています。

全面カラー版にそして表記の統一により「分かりやすく、見やすく、読みやすく」を意識し、地区ごとにトピックスを作成しています。これまでは小学校、公共施設を中心に配布・配架を行っていましたが、今年度からは新たに自治会への回覧も開始いたします。そのため、現在は年2回6,000部(10月と3月)を発行していますが、自治会回覧分として、2,000～3,000部を追加し、8,000～9,000部に大幅に増刷する予定です。まずは、地域の方々に「まどべ」を通じて青少年指導員の活動を知ってもらうことから、地道な努力を重ねていきます。

そして、将来的には「やってみたい!」と感じる方々を増やし、地域の活動に加わっていただき、より活気のある伊勢原市青少年指導員の組織になるように、引き続き全員で頑張ってまいります。



伊勢原市公式
イメージキャラクター
クルリン



伊勢原市青少年
指導員連絡協議会HP



地域活動報告



横浜

バルーンアート研修会開催

横浜市金沢区青少年指導員協議会 育成部部长 深本 彰

金沢区青少年指導員協議会では、地域活性化と青少年育成のため、さまざまな活動を行っています。その一環として、毎年恒例の区民まつり「いきいきフェスタ」では、青少年指導員の活動をPRするブースを出展し、子どもたちと一緒に楽しめる「かんたん工作」の機会を提供しています。中でも特に人気を集めているのが、バルーンアートの配布です。カラフルな風船で作られた動物やキャラクターは、毎年多くの子どもたちに喜ばれています。今年度は新たに委嘱された指導員も多いため、外部講師を招いた研修会を令和8年7月4日(土)に開催しました。最新の知見や技術を学び、支援活動をさらに充実させることが狙いです。

50人以上が参加した約1時間30分の研修では、犬や剣のほか、応用編としてウサギなどの制作に挑戦し、バルーンアートの基礎技術や安全な作成方法を学びました。研修後のアンケートでは、参加者全員がよかったと回答しており、活動への意欲向上にもつながる有意義な時間となりました。

今後も研修を通じて身に着けた知識や技術を生かし、地域の子どものために様々な活動に取り組んでいきます。



県央

親子手づくりDIYキッズ教室

綾瀬市青少年育成員協議会 副会长 川居 静子

令和8年8月2日(日)に、綾瀬市役所会議室にて「親子手づくりDIYキッズ教室」を開催しました。小学生と保護者36組72名が参加しました。

子どもたちは、設計図を見ながら、集中して釘を一本一本打って、ミラクルボックスを作りました。子どもたちからは、「難しかったけど楽しかった」などの感想があり、保護者からも「子どもと一緒にいい体験ができてよかった」と好評でした。出来上がった作品は、自宅でペイントなどの装飾をして世界に一つだけのボックスになります。

親子で協力して行うことで、絆を深めることを目的とする本事業は、これからも夏休みの思い出づくりのために続けていきます。





たのしいわんぱくフェスティバル

横須賀市青少年育成推進員連絡協議会 広報研究部会 小川 輝夫

毎年11月に県立保健福祉大学でわんぱくフェスティバル実行委員会（8団体）主催の『わんぱくフェスティバル』と市主催の『すかりぶおやこまつり』が同時開催され、多くの来場者で賑わいます。

交流広場での多数の出店や、パフォーマンススペースで音楽や遊戯、ステージでは音楽、ダンスなど楽しいイベントが行われます。

青少年育成推進員が担当する出し物は、長蛇の列ができる甘いチョココレートの香りが漂うチョコバナナ販売、飛ぶかな～紙飛行機づくり、「どんな飛行機がいいですか」と子どもに聞くと「簡単でよく飛ぶ飛行機がいい」。

百発百中の射的ではスタッフも銃の構え方の指導でてんてこ舞い、汗だくで休憩時間も取らずに子どもたちと一体となって楽しみ、心が通えた一日になります。



新人を交えた親睦交流会

相模原市青少年指導委員連絡協議会 会長 齊藤 一城

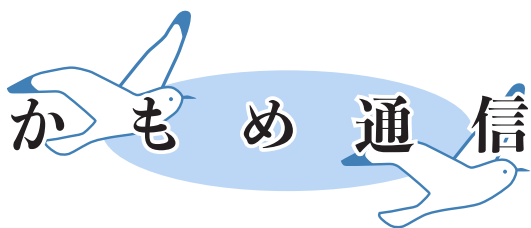
今期の相模原地域の活動方針は「協調と協働：仲間とのコミュニケーションを心がけ協力してチームを盛り上げよう」を掲げています。

今期の始まりにあたって、新たに青少年指導員になられた方々と交流を深めようということで、5月23日(土)に、相模原市の上大島キャンプ場にて、親睦交流会を開催しました。当日は新旧のメンバー含めて約50人が参加し、バーベキュー、ミニ研修、ミニゲームを行い、親睦交流を図るとともに、日頃の活動への理解を深めてもらいました。

バーベキューでは新任・再任の垣根なく交流を深めることができ、楽しい時間を過ごしました。ミニ研修ではバンブーダンスとさかな釣りゲームを体験し、運営方法や盛り上げ方、参加してくれる子どもたちへの接し方などを学びました。午後からはミニゲームとして「フルーツバスケット」「震源地ゲーム」「木こりとリス」等のレクリエーションを実際に体験しながら学びました。

新人を交えてのこのような企画は初めての取り組みでしたが、参加者には大いに楽しみ、学んでもらい、とても有意義な時間となりました。





※ 予定は変更になる場合があります

◆横浜市

○Autumn FES in Tsurumi 2026

日 時：令和8年11月8日(日) 13時30分～

場 所：鶴見公会堂

主 催：鶴見区青少年指導員協議会

内 容：鶴見区内在住又は在学の中学生・高校生が出演・運営するダンス発表会を実施します。

○つづきユースフェスティバル

日 時：令和8年11月23日(月・祝)

11時～16時30分(予定)

※10時30分開場

場 所：都筑公会堂

主 催：つづきユースフェスティバル実行委員会、都筑区役所

主管 都筑区青少年指導員連絡協議会

協力 都筑区PTA連絡協議会

内 容：都筑区内在住および在学中・高校生が、吹奏楽・ダンス・合唱・ジャグリング等の披露を行います。

◆横須賀市

○中学校対抗ウォークラリー

日 時：令和8年12月5日(土)

場 所：常葉中学校区地域内

主 催：横須賀市青少年育成推進員連絡協議会
育成研究部会

内 容：横須賀の学区内の旧所、名跡などをゲームやクイズを解きながらコースを歩き、ポイント成績を競います。推進員と一体となった一日を楽しんでもらう企画です。

◆藤沢市

○年末特別街頭指導キャンペーン

日 時：①令和8年12月1日(火) 16時から

②令和8年12月2日(水) 16時から

場 所：①藤沢駅【雨天決行】②湘南台駅【雨天決行】

主 催：藤沢市・藤沢市青少年指導員協議会

内 容：街頭放送、非行防止パネル展示、啓発物品の配布を通し、青少年の非行防止について広く市民に呼びかけます。

◆茅ヶ崎市

○青少年健全育成ポスター展示

日 時：令和9年2月16日(火)～19日(金)

場 所：茅ヶ崎市役所ふれあいプラザ

主 催：茅ヶ崎市青少年指導員連絡協議会・茅ヶ崎市教育委員会

内 容：市内中学生が作成した青少年健全育成啓発ポスターを展示します。

県からのお知らせ【優良図書～子どもの心へ届けたい本～】

県児童福祉審議会では、青少年の皆さんに読んでいただきたい本の推薦を行っています。
青少年に読書を薦めていただく際の参考として、ぜひご活用ください。

※優良図書の一覧は県HPに掲載しています→



「つばさ」第30期編集委員 5名(敬称略)

中 釜 仁(横須賀三浦地域/担当事務)

吉 田 哲也(横浜地域) 新 井 一成(川崎地域)

齊 藤 一城(相模原地域) 川 田 房江(県央地域)



つばさ編集委員 齊藤 一城(相模原地域)

今期最初の広報誌「つばさ第75号」をお届けします。
各地域の皆さんに、それぞれの地域でどんな活動を行っているかを知ってもらえるように、記事を編集しました。

また青少年指導員の知名度向上や、仲間を増やすための取り組みについても紹介しています。

多くのみなさんに読んでいただけるよう、編集委員一同頑張っていきます。

※「つばさ」は県のホームページから
ご覧いただけます

